



1村1自然エネルギー プロジェクト



平成 24 年 11 月 21 日

団体名 長野市自然エネルギー普及協議会

職 氏名 会長 松岡 保正 印



長野市自然エネルギー普及協議会は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要			
取組の名称	木質バイオマスストーブ初期投資ゼロ円システム			
取組の主体	長野市自然エネルギー普及協議会			
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	松岡保正(国立長野高専教授)、長野森林組合、長野地方事務所(環境課)、長野市(環境部環境政策課)、長野市地球温暖化防止活動推進センター、NPO法人CO2バンク推進機構			
普及する自然エネルギーの種別等	木質バイオマス			
取組の目的	市民出資などの多様な資金調達方法により、ペレットストーブ貸し出すエネルギー供給サービスにより、地域循環型の再生可能エネルギーによる環境と経済の好循環を構築し、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与する。			
地域関係者との協働の内容	①市民出資、補助金等の多様な資金調達でペレットストーブを設置、②普及効果の高い施設などにストーブ設置、③10年間貸出しにより地域産ペレットを安定供、④メンテナンスや保険などにより継続性を維持、⑤情報発信による普及拡大。			
プロジェクトの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他			
取組(事業)の段階	①構想段階、②実施段階、③発展段階			
取組の概要	当協議会で検討した事業モデルを実施するための事業主体としてLLPを設立し、NPO法人が運営支援を行うことで事業化を実現。市民出資などの財源により、エネルギー供給サービスを実施。地元産ペレットを継続的に使用することで、持続可能な再生可能エネルギーの自給自足モデルとなっている。			
事務局担当者の連絡先	担当者所属	NPO 法人 CO2 バンク 推進機構	氏名	宮入賢一郎
	TEL	026-285-5370	email	CO2bank@nifty.com
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。



1 村 1 自然エネルギープロジェクト概要書

区 分	内 容
取組の内容	<p>当プロジェクトは、『新しい公共の場づくりモデル事業』（長野県県民協働・NPO課）の補助により検討した『木質バイオマスストーブ初期投資ゼロ円システム』を事業化したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ貸出事業 <p>長野市内：6カ所（申請時点）既設3基。さらに拡大中 事業主体：LLP（有限責任事業組合）クラウドエナジー 運営支援：NPO法人CO2バンク推進機構</p> <p>施設</p> <p>1号 出力2.5～7kw、ペレット消費量0.5～1.4kg/h 設置場所：長野市七二会（個人） ※設置完了</p> <p>2号 出力2.5～9kw、ペレット消費量0.7～2.1kg/h 設置場所：長野市篠ノ井（NPO法人）※補助金申請中</p> <p>3号 出力3.1～11kw、ペレット消費量0.8～2.4kg/h 設置場所：長野市篠ノ井（自営事務所）※補助金申請中</p> <p>4号 出力2.5～7kw、ペレット消費量0.5～1.4kg/h 設置場所：長野市上ヶ屋（個人） ※設置準備中</p> <p>5号 出力2.5～7kw、ペレット消費量0.5～1.4kg/h 設置場所：長野市早苗町（個人）</p> <p>6号 出力2.5～9kw、ペレット消費量0.7～2.1kg/h 設置場所：長野市西尾張部（自営事務所）</p> <p>※5号および6号はNPO法人により平成23年度実施。</p> <p>CO2削減量 ペレット消費1000kg/年×6基×1.1=6600kg-CO₂/年</p> ・資金調達 <p>飯田市の「おひさまエネルギーファンド」によって平成24年度に募集している『地域MEGAおひさまファンド』の市民出資（一部）の再投資を受け、ペレットストーブの設置を行うもの。また、特に普及効果の高い事業所等については、長野県『森のエネルギー推進事業』の補助金を受け、さらに高い事業効果をめざしている。</p> <p>なお、地域金融機関からの融資による事業モデルも平成23年度に2件実施している。</p> ・燃料供給 <p>長野森林組合産ペレットを用い、長野市内での再生可能エネルギー生産と消費『地産地消』を実現した。</p> ・貸出型によるユーザーとの関係の継続

	<p>本事業は10年間のペレットストーブ貸出型であることから、設置先ユーザーとの継続的な関係が構築できる。安全で安心して使ってもらえるように、年1回以上の訪問メンテナンスを行ったり、万が一の火災や事故に対応できる保険をかけるなど対応している。ペレット燃料も地元産を供給しながら、安定したグリーン熱の地産地消モデルを構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な参加の実現 ペレットストーブを設置し、地元のペレット燃料を使用してくれるユーザーは、グリーン熱利用によるCO₂削減に直接的な役割を果たす。さらに、ペレット生産者である地元の森林組合では、森林整備や木材可能の際に発生する不要だった部分の有効活用により燃料を生み出し販売することにより、地元への経済的な効果や雇用の確保にも貢献できる。また、市民出資により、資金調達の面で本事業に参加することもできる。 ・情報発信 本事業による効果をより高め、普及を拡大するために、ホームページの開設や現地見学会を予定している。また、出前講座等により体験型の環境学習にも取り組んでいる。 <p>これらの取り組みにより、地域全体の再生可能エネルギーの自給自足の事業モデルをスタートすることができ、持続性ある環境と経済の好循環の実現につながっている。</p>
<p>取組を行うコミュニティの区域</p>	<p>長野市内全域。さらにこの事業モデルを、長野地方事務所管内および長野県下各地へと拡大する予定。</p>
<p>構成員の役割</p>	<p>運営支援・業務管理：NPO法人CO₂バンク推進機構、事業主体：LLPクラウドエナジー、ペレット燃料製造・販売：長野森林組合、ペレットとペレットストーブのモニター事業：長野市地球温暖化防止活動推進センター、広報協力：長野市・長野地方事務所</p>
<p>現に活動しているかの有無</p>	<p>有り（平成23年度設立、活動2年目）</p>
<p>活動の成果等の帰属</p>	<p>長野市民（今後は広く長野県民に発展）</p>
<p>普及推進体制</p>	<p>当協議会の構成員それぞれの立場により、普及推進活動を展開している。プレスリリースや会場提供などは長野市、環境学習等はNPO法人、HP等はLLP、また森林組合と長野市地球温暖化防止活動推進センターでもそれぞれの事業や環境展などのイベントの際に、本事業モデルを広報協力している。当協議会が連携する『自然エネルギー信州ネット』を通じて、今後と</p>

	も本事業を長野県下各地で展開できるようにさらに普及拡大をめざす。
取組の有効性	資金調達から設置、運用までの各段階において市民参加を実現しながら、持続的なグリーン熱利用による経済性の伴う事業となっている。さらに、補助金を利用したタイプであっても、ペレット燃料使用による直接的効果と普及啓発による間接的効果を測定し、費用対効果を確保した事業となっている。特に本事業では、木質ペレット燃料をグリーン熱として提供することから、大きなCO2削減効果が発揮できる。
継続性及び発展性	長野市内はもとより、平成25年度から長野県下各地で本事業を発展させる予定。また、年間を通じて安定的かつ大量のペレット燃料を消費できるボイラー施設へも発展させる予定。
関係法令の手続き状況	事業主体の法人設立登記、税務等の関係機関手続きは完了
団体設立年月日	平成23年9月30日
ホームページ	http://crowd-energy.net/
備考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。

